

2022年度 国際観光都市機能整備調査事業 報告書概要

I 調査事業の概要

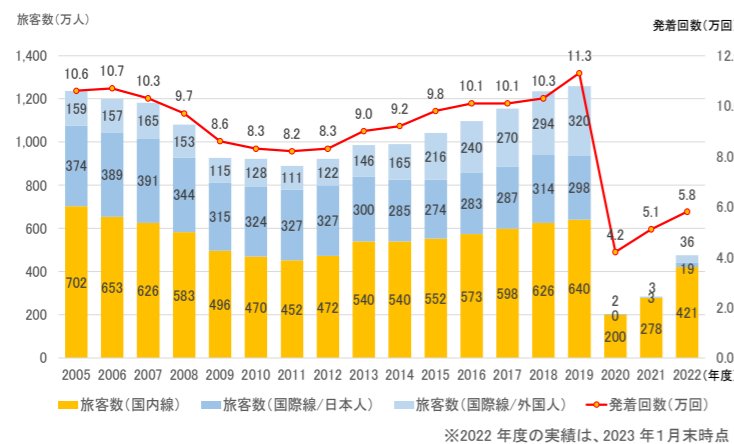
中部国際空港やその周辺エリアにおいて、「MICE を核とした国際観光都市」の実現を目指し、国内外から人の来訪を促進するために必要な機能やニーズの調査・検討、安全で魅力的なイベントの開催に必要な機能の検討を行った。

II 基礎情報の整理

中部国際空港やその周辺エリアを取り巻く状況について再整理を行った。

- 中部国際空港の発着回数・旅客数は、2020 年度に新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだが、回復傾向にある。
- 中部国際空港の滑走路増設に向け、2023 年 1 月に環境影響評価方法書が取りまとめられた。

中部国際空港の発着回数・旅客数の推移



中部国際空港滑走路増設事業実施区域



ワーケーション
○各地でワーケーションの取組が活発化中での差異化
○滞在時間や利用頻度がさまざまであるワーケーションの利用者に対応した支援
○ワーケーションの利用促進の前提となるテレワーク環境の整備
ユニークベニュー
○ユニークベニュー施設の受入環境整備や外国語対応への支援
○問い合わせに対し、ワンストップで対応するための事業者との連携
インセンティブ旅行
○ものづくりコンテンツ等、当地域ならではのプログラムの提供
○旅行先の決定につながる下見に対する支援

2 海外富裕層の取込みに向けた検討

With/After コロナの時代において、団体旅行や個人旅行の動向が不透明である中、消費単価の高い旅行者の来訪を促し、経済効果を高めていくことが求められている。

そのため、海外富裕層の訪日旅行の動向や、海外富裕層を受け入れるために必要なコンテンツや機能、先進的な取組等を調査し、愛知県が取り組むべき方向性を検討した。

主な取組の方向性

- サービスの質の向上
 - ・富裕層向けの宿泊施設や移動環境の整備(五つ星ホテル、ビジネスジェット、専用車両等)
 - ・金額にこだわらない良質なサービス、唯一無二のコンテンツの提供等
- ホスピタリティの追求
 - ・専門ガイド・通訳の育成、VIP 対応の人材育成
- 安心・安全の確保
 - ・官民連携の警備計画策定・施設のセキュリティ、専用導線の確保

III 国内外からの人の来訪を促進するために必要な機能やニーズの調査・検討

比較的消費単価の高いビジネス旅行者と海外富裕層に着目し、旅行訪問先として選ばれるために必要な機能について、国内外の事例を調査し、愛知県が取り組むべき方向性を検討した。

1 ビジネス来訪者の取込みに向けた検討

ものづくり産業の集積地である愛知県の優位性を十分に活用していくため、テクニカルビジット、ブレジャー、ワーケーション、ユニークベニュー、インセンティブ旅行の事例を調査し、ビジネス来訪者を取り込むために愛知県が取り組むべき方向性を検討した。

主な取組の方向性

テクニカルビジット
○受入企業における新たなビジネスの創出・拡大等のメリットの共有
○受入の有料化や限定的な公開等、持続可能な対策による受入企業の増加
ブレジャー
○公私の切分けや労務管理の制度設計
○受入企業への外国語サポート等の支援

IV 安全で魅力的なイベントの開催に必要な機能の検討

With/After コロナを見据え、来訪者が安心・安全に参加できる魅力的なイベントの開催に必要な機能について、イベント関係者のニーズを調査し、愛知県が取り組むべき方向性を検討した。

主な取組の方向性

- 主催時の留意点を踏まえたイベントの開催
 - ・ハード面の留意点(オンライン設備や大型ビジョン等の整備、警備設備の設置等)
 - ・ソフト面の留意点(人手不足対応やイベントスタッフの教育、デジタルリスク対策等)
- 世界各地から集まりやすい、国際空港隣接地としての優位性の活用
- 当地域の強みを生かせるイベントの開催
- イベントコミッション機能の整備